



まだまだ厳しい寒さが続いています。でも、子どもたちは寒さなんかなんのその、ネット遊具やすべり台を楽しみ、2階テラスでは、三輪車に乗りスピードを上げて走り抜けています。室内では発表会に向けて合奏や劇遊びに取り組み、お父さん、お母さん、家族の人たちにかっこいい姿を見てもらいたいと張り切っています。

あと2ヶ月足らずで就学・進級となります。友達と一緒にの楽しさを満喫しながら、充実した生活にしていきたいと思います。

節分と豆まきの由来



2月3日は「節分」ですね。節分とは本来、「季節を分ける」つまり季節が移り変わる節日を目指し、立春・立夏・立秋・立冬それぞれの前日に、1年に4回あったものでした。ところが、日本では立春は1年の始まりとして、とくに尊ばれたため、次第に節分といえば春の節分のみを指すようになっていったようです。

節分には豆をまきますが、これは中国の習俗が伝わったものとされています。豆は「魔滅（まめ）」に通じ、無病息災を祈る意味があります。昔、京都の鞍馬に鬼が出たとき、毘沙門天のお告げによって大豆を鬼の目に投げつけたところ、鬼を退治できたという話が残っており、「魔の目（魔目＝まめ）」に豆を投げつけて「魔を滅する（魔滅＝まめ）」に通じるということです。

豆まきは一般的に、一家の主人あるいは「年男」（その年の干支生まれの人）が豆をまものどされていますが、家庭によっては家族全員で、というところも多いようです。家族は自分の数え年の

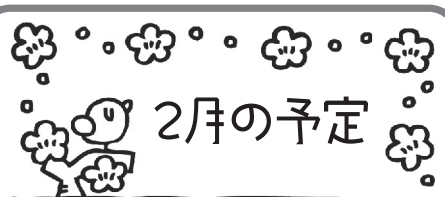
立春を1年の始まりである新年と考えれば、節分は大晦日にあたります。平安時代の宮中では、大晦日に陰陽師らによって旧年の厄や災難を祓い清める「追儺（ついな）」の行事が行われていました。室町時代以降は豆をまいて悪鬼を追い出す行事へと発展し、民間にも定着してきました。

数だけ豆を食べると病気にならず健康でいられると言われていました。ただ、豆まきに使う豆は炒った豆でなくてはなりません。なぜなら、生の豆を使うと拾い忘れた豆から芽が出てしまうと縁起が悪いからです。「炒る」は「射る」にも通じ、また、鬼や大豆は陰陽五行説の「金」にあたり、この「金」の作用を減すといわれる「火」で大豆を炒ることで、鬼を封じ込めるといいう意味があります。そして最後は、豆を人間が食べてしまうことにより、鬼を退治した、ということになるわけです。

保育所児童保育要録の送付を実施します



小学校などに就学する保育園児童に対する「保育所児童保育要録」の作成が義務付けられ、小学校などへ送付することになりました。これは、2009年4月から施行された「保育所保育指針」に基づき、子どもの育ちを支える資料として保育園が作成するものです。対象は、今年4月に小学校などへ就学する保育園児童全員で保育園から就学先の小学校などにお渡しする予定です。



2月の予定

3日(火)	節分の日会
5日(金)	避難訓練
14日(土)	発表会
16日(月)	絵画指導
16日(月)	0歳児健診
16～20日	身体測定週
17日(火)	ドッジボール大会(つき)
20日(金)	お誕生会
21日(土)	新入園児面談
19・23・25	手洗い指導(幼児)
26日(木)	幼児体育指導
27日(金)	お別れ遠足
28日(土)	新入園児面談

3月の予定

3日(火)	ひなまつり会
6日(金)	【雨天】お別れ遠足
9～14日	身体測定
12日(木)	誕生会
16日(月)	幼児体育指導
21日(土)	卒園式
23日～	新クラス開始

新クラス説明会

時間：17:00～18:00

- 3/ 2(月) 新ぺんぎん組
- 3/ 3(火) 新うさぎ組
- 3/ 4(水) 新ことり組
- 3/ 5(木) 新はな組
- 3/ 6(金) 新つき組
- 3/24(火) 新ひよこ組



●ひよこ組

新園舎に移り1ヶ月が経ちました。毎日笑顔で登園してくれる子ども達に寒さも吹き飛んでしまいます。お食事、睡眠、遊び、それぞれのスペースがあることをよく理解してくれて楽しく充実した生活を送っています。円形の畳のスペースで大好きな絵本を読む姿もとても可愛いです。いよいよ発表会へのカウントダウンが始まりますね。きつと可愛い姿を見せてくれると思います。応援、宜しくお願いします。



●ぺんぎん組

新園舎にもすっかり慣れ、毎日楽しく過ごしています。特に部屋の真ん中にある棚の穴をくぐったり、くぐり切らずに、そのまま棚に入ったまがお気に入りです。隣の穴と顔を見合わせ「ばー」「〇〇くん」「〇〇ちゃん!!」とても楽しそう。皆でそれをするるとまるでハチの子ようで、とても可愛いらしいです！発表会ではそんな可愛い子どもたちの様子を少しでも見せられたらと思います。

ゆとろぎの大舞台…。沢山のお客さんの前にどんな風になるのでしょうか？ドキドキ、楽しみです。

●うさぎ組

新園舎になり、1ヶ月が経ちました。新しい保育室にドキドキでいっぱいだった子どもたちでしたが、少しずつ慣れてきて今では笑い声でいっぱいです。そしてうさぎ組さんで人気なのが園庭にあるネット遊具とすべり台です。身支度を済ませると一目散に飛んでいく子どもたち。バランスをとるのも日に日に上手になっています。

また、発表会の練習もスタートし、子ども達の大好きな絵本「とんとんとん」を劇遊びにし楽しんでます。友達と一緒にセリフを言ったり、仕草がとてもかわいいです。大きな舞台でも子どもたちの笑顔や歌声を発揮してくれる？と思います。当日を楽しみにしててください。

生活のスキル(技能)の教え方5か条

1. 時間にゆとりをもって(時間があるときに)
2. 手順ややり方を具体的にわかりやすく
3. 自分でしやすい環境をつくり
4. できない部分を援助
5. 毎日毎日繰り返す



子育て支援 ひだまり通信 高山静子著 チャイルド社より

●ことり組

新園舎での生活がスタートし1ヶ月が経ちました。新しい環境にも少しずつ慣れてきたようで、お部屋や園庭で遊ぶことを満喫している子どもたちです。2階のテラスからの眺めが、気に入ったようで、毎回「あっ！富士山！やった～！きれいだね～」と富士山を見つけ、景色を楽しむ姿がとても微笑ましいですよ。

発表会へ向けての活動に初めはドキドキしてしまう子もいましたが、子どもたちが、4月当初から熟読している「ヘンテコはみがき」の絵本を題材にした劇遊びでは、日に日に自信を持ち大きな声を出せるようになりました。本番は、初めての大きな舞台なので、いつもより緊張してしまうと思いますが、子どもたちの一生懸命な姿を見て頂けたらと思います。



●はな組

新園舎での生活が始まり1ヶ月が経ちました。はじめの1週間は少々緊張気味だった子も少しずつ慣れ、今では、生き生きとした表情で登園しています。お部屋では大好きなロフトコーナーでごっこ遊びを楽しんだり、ブロックやボード型ゲーム、メモリーカードでの遊びに夢中。園庭ではネット遊具はもちろん滑り台も大人気です。2階のテラスから見える富士山は最高！！見晴らしを楽しみながらの鬼ごっこ。息を切らしているのは担任だけでしょうか…!?

発表会にむけての活動も取り組んでいます。「ピアノカやるよ!」と声をかけると「やったー!!」「むずかしいけどたのし～」と子どもたち。何事にも一生懸命です。その中で苦手なことも一生懸命取り組み始めれば出来るようになることを“しっかり行い、たくさん遊ぶ”という経験を通して皆が感じて欲しいと願っています。

まだまだ寒い日が続きます。規則正しい生活を心がけて健康にこの冬を乗り越えたいですね。

●つき組

新園舎では園庭も室内も遊びたいものがいっぱい。毎日「楽しいな～」と元気な声が聞こえてきます。また同時に、発表会に向けて、歌・合奏・劇など盛りだくさんの出し物の練習も続けて行っています。合奏は6種類の楽器を皆で合わせるのはまだまだ難しいですが、一人一人の力が一つになり感動できる場面をお見せできるように頑張りたいと思います。劇ではセリフを一人で言うのはドキドキしますが、自信を持ち、勇気を出して表現できるといいなと思っています。当日は、たくさんの拍手を送って下さるようよろしくお願いします。

保育園生活もあと2か月…。みんなと仲良く、たくさんの思い出を作っていきたいと思います。